

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立東柏ヶ谷小学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

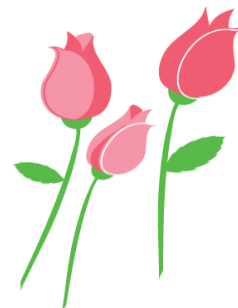
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 送り仮名に注意して、適切な漢字を選択することができています。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけ、書かれている内容から適切な答えを選択することができています。
- 原因と結果など、情報と情報との関係について、適切な答えを選択することができています。

◆課題のある点

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに、課題があります。
- 文章の種類や特徴を理解し、読み取ったことに基づき、自分の考えをまとめることに、課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えをしっかり持ってから文章を書き、その目的や意図を他者に伝えたり、さらに考えを深め、感想や意見を書いたりする場面を取り入れていきます。
- 自らが表現したくなる経験や場面を設定し、自分の言葉で伝えたり、自分の考えや思いを書いたりする活動を積極的に増やしていきます。
- 行事をはじめとする体験活動を行い、振り返るなかで、書く活動を取り入れていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 伴って変わる2つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数量の変化を読み取り解答することができています。
- 伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることに気づき、知りたい数量の求め方と答えを式や言葉を用いて解答することができています。
- 正方形の意味や性質について理解して解答することができています。

◆課題のある点

- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に大小を判断し、その理由を公式などの根拠をもとに言葉や数を用いて記述することに課題があります。
- 正三角形の性質について理解をし、正三角形を構成するための角の大きさを求めることに課題があります。
- 示された日常生活を想定した問題を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、課題を解決するための答えを式や言葉で記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎的な知識・技能の習得を確実なものとし、新しい単元に入るときは既習事項と学習する単元の関連性や、実生活との結びつきを考えて学習できるように授業を展開していきます。
- 習得した知識や技能をもと、授業の中で言葉や式を用いて意見の交流や議論など対話的な学びを適宜取り入れていきます。
- 図形の性質等を理解し、公式等の根拠をもとにその特徴を説明する場面を設定していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に対して、積極的に取り組んでいる児童が多いことがわかります。
- 学校の授業時間以外に、普段読書をしている児童が多いです。落ち着いて本と向き合う時間が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分の活動や取組を振り返って課題を見つけたり、それに対する手立てを考え、実行したりしていくことが難しいと感じている児童が多いことがわかります。
- 教科の特性を理解し、学習活動を進めていくことに対する期待感が低い児童が多いことがわかります。
- 家にいるとき、自分で計画を立てて学習することを苦手と感じている児童が多いことがわかります。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる」児童の割合が高いです。また、「朝食を毎日食べている」割合が、全国平均より上回っています。規則正しい生活習慣が身につけていることがわかります。
- 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと考えている」児童の割合が高いです。前向きに自分の将来を考えている児童が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

- 「今住んでいる地域の行事に参加している」児童の割合が全国平均と比べると低いです。地域の祭りや行事などが中止になることが多く、参加している実感が持てていなかったことが一因と思われます。
- 「自分には、よいところがある」と回答した児童が全国平均よりやや低いです。自分のよさを認め、自信につなげることができている児童が少ないことがわかります。
- 「学校に行くことが楽しいですか」「友達関係に満足していますか」の問いに対して、「当てはまる」の回答の割合が全国平均と比べると低いです。学校における他者意識や関係構築に課題がうかがえます。

今後の具体的な取組について

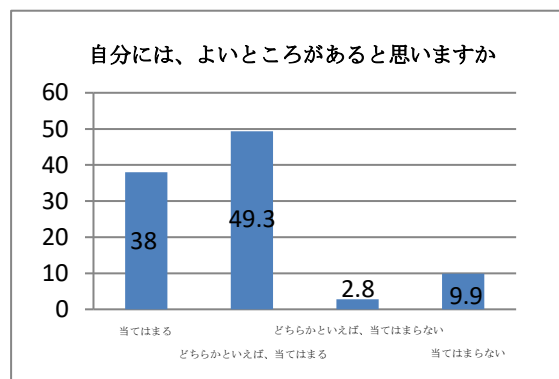
- 児童一人ひとりのよさが発揮できるような教育活動の展開や自己肯定感を高めていくような言葉かけを大切にしていきます。
- 本校の特色である地域との連携を大切にし、人とのかかわりの大切さや楽しさを味わうことができるような教育活動を展開していきます。
- 学習を振り返り、課題を見つけ解決するために、自分の考えをまとめ児童自ら計画を立てて、各教科で学んだことを生かしていくような教育活動を展開していきます。
- お互いの違いやよさを認め合い、励まし合える友だち関係・学級づくりを進めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

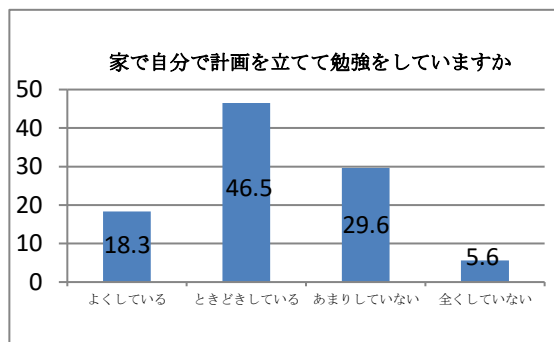
1 できるようになったことや、がんばっていることを、認め励ます。

できるようになったことやがんばっていることを認めることで、自己肯定感が高まり、自信をもって行動できるようになります。



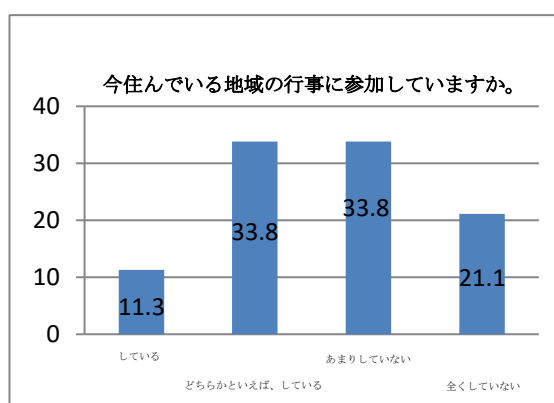
2 自主学習に積極的に取り組む。

学年が上がると、学習も難しくなります。自分の得意・苦手に合わせて学習計画が立てられるよう、見守ってください。



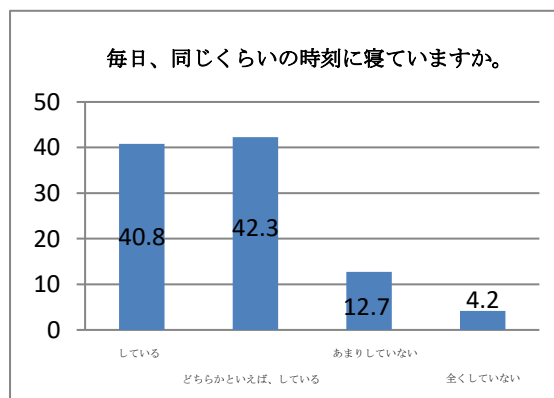
3 地域の行事に積極的に参加する。

今年度から地域行事の制限が緩和されています。児童の積極的な参加が、地域への愛着や地域の活性化につながります。



4 規則正しい睡眠をとる。

毎日決まった時間に眠り、決まった時間に起きましょう。生活のリズムも整い、学習に集中することができます。



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係